

## 場所・面積

東京都西東京市、 0.019 ha( ≒ 60坪〈庭のみ〉 /115坪〈自宅含む〉 )

## 管理目的

野生生物にやさしい庭 (Wildlife-friendly garden) を造ることで幼少期の近隣自然を再現すること。

- ・ 東京都北多摩地区住宅街の戸建て住宅の小さな庭であっても、地域で絶滅危惧されている生物の繁殖を維持する。
- ・ 大規模な活動ではなく、一住民の小さな力であっても、野生生物への愛情と熱意をもって地域の自然再生を実現する。

## サイト概要

東京都西東京市（北多摩地区）の戸建て住宅の庭にわずかに生息していた両生類や爬虫類を、ビオトープを中心とした庭（野生生物にやさしい庭 /Wildlife-friendly garden）を造ることによって繁殖数の増加が可能となり、地域の生物多様性環境の小さな再生地として保全に努めています。

## 土地利用の変遷

従来は古木が茂り薄暗く、90ℓの小さな池のみがあった環境でしたが、2020年から野生生物にやさしい庭（Wildlife-friendly garden）を造り始め、500ℓの池の増設や生息生物に適した植栽などの環境改善によって、絶滅危惧されている生物の繁殖数を増やしています。

## サイト周辺の環境

申請サイト周辺は住宅地が広がり、幼少期に見られた水辺に住む野生生物などはいなくなり、遠方にある自然を活かした公園などでわずかに生息しているのが現状です。

## アピールポイント

戸建て住宅の小さな庭ではありますが、ビオトープ（500ℓ、90ℓ）を中心とした水辺や身を隠すことが可能で冬眠に適した周辺環境を造り込んだことで、東京都西東京市（北多摩地区）で絶滅危惧IB類のニホンアカガエルのほか、絶滅危惧II類のアズマヒキガエル、ヒガシニホントカゲやニホンカナヘビなどの繁殖数の増加が見られます。

また、両生類や爬虫類の安定繁殖を維持するために、エサとしての昆虫類をバランスよく繁殖させています。

人間にとって美しいだけの庭ではなく、野生生物にもやさしい庭造りを意識することで、戸建て住宅の小さな庭であっても地域で絶滅危惧されている生物の繁殖が可能となっています。





## 生物多様性の価値

## 価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

## 【場の概況】

東京都内の戸建て住宅の小さな庭で「野生生物にやさしい庭/Wildlife-friendly garden」を造ることで、季節を通して木々や花々を楽しみながら、従来この地域に生息していた野生動物も観察できる生物多様性を有した庭を実現しています。地域で絶滅が危惧されている両生類・爬虫類のほか、昆虫や鳥類などの様々な生物が確認されています。

## 【主な植生】

花木（鳥類用） ジューンベリー、柑橘系、ブルーベリー、他  
草花（両生類、爬虫類用） セダム、ギボウシ、アストロメリア、ヒューケラ、他  
花木・草花（蝶類用） ブッドレア、エキナセア、柑橘系花木、他

## 【確認された希少種】

以下のとおり地域の絶滅危惧種の生息が確認されています。

ニホンアカガエル(2023年春:卵塊≒30個)やアズマヒキガエル(2023年春:卵塊≒5個)は1980年以降継続して産卵しています。このほかオンブバッタなどのエサとなる昆虫も毎年見られます。

ニホンアカガエル (*Rana japonica* : 東京都北多摩/絶滅危惧IB類)  
アズマヒキガエル (*Bufo japonicus formosus* : 東京都北多摩/絶滅危惧II類)  
ニホンカナヘビ (*Takydromus tachydromoides* : 東京都北多摩/絶滅危惧II類)  
ヒガシニホントカゲ (*Plestiodon finitimus* : 東京都北多摩/絶滅危惧II類)



写真の撮影年月：2023年5月5日

写真の説明：庭池（500ℓ）と周辺の環境



写真の撮影年月：2023年3月1日

写真の説明：庭池（500ℓ）で産卵するニホンアカガエル

## サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p><b>1) 【管理目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Wildlife-friendly garden（野生生物に優しい庭）を造ることで幼少期の近隣自然を再現すること。</li> </ul> <p><b>2) 【管理措置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 暑さ対策：池に直射日光が当たらぬよう木々の育成を行い、池の水位維持と池周りへの散水を日々行う。</li> <li>➤ 隠れ家対策：低花木、草花、古い土管や瓦なども利用。</li> <li>➤ 冬眠環境対策：ウッドチップ、枯枝、枯草、古い土管や瓦なども利用。</li> <li>➤ エサ対策：バッタ類などをバランスよく繁殖させる。</li> <li>➤ 産卵環境対策：ニホンアカガエル及びアズマヒキガエルの産卵場所となっている2つの池の環境整備（浅場・深場の適正水位、適正水質、水草の剪定等）を継続的に実施する。</li> <li>➤ タヌキ対策：2023年3～4月に産卵に集まったニホンアカガエル2匹およびアズマヒキガエル5匹がタヌキの餌食となったことから、タヌキの通り道を閉鎖するなどの対策を検討中。</li> </ul>	<p><b>【モニタリング対象】</b></p> <p>カエル類（ニホンアカガエル、アズマヒキガエル） トカゲ類（ニホンカナヘビ、ヒガシニホントカゲ） 昆虫類他（バッタ類 他）</p> <p><b>【モニタリング場所】</b></p> <p>我が家の庭</p> <p><b>【モニタリング手法】</b></p> <p>目視による観察</p> <p><b>【実施時期及び頻度】</b></p> <p>通年、毎日</p> <p><b>【実施体制】</b></p> <p>私を中心とした家族全員</p>